

|     |                 |      |      |      |     |
|-----|-----------------|------|------|------|-----|
| 科目  | 倫理学(リハ)         | 担当   | 岸 貴介 | 履修学年 | 1年  |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 選択   | 単位数  | 2単位 |

**【授業目標・到達目標】**

敢えて単純化して言えば、倫理学は「よく生きること」を探求する学問である。だが「よく生きる」とはどのようなことか。この問いを扱うに際し、本講義は「幸福」に注目し、過去の思想家の考え方も参照しながら考えていく。

きちんと受講することで期待される到達目標としては、次のものが挙げられる。すなわち、講義も参考にしつつ、講義で扱われる問題や、他の様々な問題について、まずは、自ら関心を持つようになること。次に、自ら問い直すことができるようになること。更に、自ら掘り下げて考える努力ができるようになること。

**【履修注意】**

毎回多くの文章を読み、考える。また、1回完結型の講義ではなく、複数回にわたり議論を積み重ねていく。更に、毎回小テストを行う予定である。従って、相当の日本語読解力に加えて、思考力・集中力・忍耐も要求される。これらの点を承知した上で履修すること(2年生以上も履修可)。

なお、毎回出欠確認を兼ねてコメントを書いてもらうことも考えている。また、毎回とは限らないが、内容に関連したワークシートを利用することも考えている。

**【評価方法】**

平常点10割で判断する。内訳は小テストが約6割、コメント・受講態度が約4割。出席点の設定は無いので注意。

**【試験について】**

実施しない。

**【予習・復習】**

文部科学省の指針に従えば、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。

**【教科書】**

購入教科書なし(こちらで講義資料を用意する)。

**【参考書】**

なし。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

| 回数 | 項目              | 内容                            |
|----|-----------------|-------------------------------|
| 1  | イントロダクション       | 何をやるのか、いかにやるのか、受講者アンケート       |
| 2  | 幸福はよいものか?①      | 「いい(よい)」とはどういう意味か             |
| 3  | 幸福はよいものか?②      | 幸福の「よさ」について                   |
| 4  | ベンサムの実用主義について①  | 功利主義、最大多数の最大幸福                |
| 5  | ベンサムの実用主義について②  | 功利主義に対する疑問                    |
| 6  | カントの道徳論について①    | 義務倫理学、傾向性、自由                  |
| 7  | カントの道徳論について②    | 道徳法則、仮言命法、定言命法                |
| 8  | カントの道徳論について③    | 完全義務、不完全義務、尊厳、自律              |
| 9  | ミルの道徳論について①     | 修正功利主義                        |
| 10 | ミルの道徳論について②     | 功利主義の正しさの「説明」、その検討            |
| 11 | アリストテレスの道徳論について | 徳倫理学、徳、中庸                     |
| 12 | キケロ、セネカの道徳論について | 高貴さ、有利さ                       |
| 13 | ニーチェの道徳論について    | 強さ、弱さ、力、苦                     |
| 14 | まとめ①            | それぞれの思想家の考えの整理、我々はどう生きるのがよいのか |
| 15 | まとめ②            | 我々はどう生きるのがよいのか(つづき)           |
| 16 | おわりに            | 15コマの復習・確認・総まとめ               |